

“第 36 回複合材料シンポジウム”

出張報告書

作成日 2011/11/04

文責：構造工学研究室

11M1 太田崇史

1. 記録記事

日時：2011 年 10 月 20 日（木）～21 日（金）

場所：フォレスト仙台，仙台市

行事名：第 36 回複合材料シンポジウム

主催：日本複合材料学会

行事概要：複合材料分野に関する研究発表

研究発表題目と発表者： ・表面を CFRP で覆ったセラミックス製防弾素材による銃弾貫通防止

篠宮正嗣，大窪和也，藤井透，菅原将高氏

・炭化 MFC を添加した C/C 複合材料の機械的特性の向上と黒鉛化による影響

太田崇史，大窪和也，藤井透

登壇者： 篠宮正嗣，太田崇史

同道者：藤井先生（会議のため 1 日目のみ参加），11M1 太田，11M1 篠宮

参加費：学生会員 2000 円，非学生会員 3000 円

2. 出張結果

本シンポジウムでは全体を通して、非常にレベルの高い議論が繰り広げられた。中でも林学生賞対象セッションにおける質疑応答で、厳しい指摘をするベテランの方と学生との討論の場面が印象深かった。研究内容も多種多様に富んでおり、柔軟材の純曲げ疲労試験法の提案で、「養生テープでベルトをつくり、2 枚のテープの間に柔軟材を置いて疲労試験を行う」など奇抜な発想の研究もあった。

今回は特別講演が 2 件あり、研究が社会貢献の一つであるということを再認識し、「情報交換の重要性」を教わった。

私たちは、本シンポジウムにて様々な分野の勉強ができ、また、初めて東北地方太平洋沖地震の被災地、仙台市内を訪れ、街の復興の早さを肌で感じられ、非常に有意義な 2 日間になったと思う。

以上



図 1. 研究発表の様子